

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

南房総市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県南房総市

3 地域再生計画の区域

千葉県南房総市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は温暖な気候で自然の恵みが豊かな、東京への交通利便性も高い、「住むによい」地域である。しかしながら、本市の人口動向は減少傾向にあり、国勢調査によれば2015（平成27）年は39,033人、住民基本台帳によれば2020（令和2）年に37,444人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、本市は2040（令和22）年には総人口が24,648人となり、2015（平成27）年の国勢調査結果と比較し14,385人、36.8%の人口減少が推計されている。

自然動態については、常に自然減の状態であり、1995（平成7）年までは200人台の減少で推移していたものが、2010（平成22）年以降は500人台の減少と、減少幅の拡大が見られ、2019（令和元）年は650人の自然減となっている。また、出生数においても2019（令和元）年は本市の出生者数は88人であり、2015（平成27）年と比較し82人、48.2%の減少となり、高齢者人口が2020（令和2）年に17,099人（45.7%）と、高齢化も進展している本市では、死亡者数が出生数の8倍を超える自然減による人口減少が顕著となっている。なお、合計特殊出生率の推移を見ると、2011（平成23）年までは1.3前後で推移しており（1.25～1.34）、千葉県の平均値と概ね同等、全国平均を下回る状況であったが、2012（平成24）年は1.42に上昇、2014（平成26）年も1.44と、全国平均より高い水準にあった。しかし、2019（令和元）年には0.85と、全国平

均及び千葉県平均を大きく下回る状況となっている。

社会動態は2004（平成16）年、2011（平成23）年に転入超過に転じているほか、転出超過数が50人未満など、ほぼ転入と転出が均衡状態に近い年も見られ、2019（令和元）年は21人の社会減となっている。

このまま人口減少が進むと、地域コミュニティの弱体化、空き家の増加、移動困難者の増加、商業・医療など身近な生活サービスの衰退、里山自然環境の荒廃といったことが懸念され、地域の持続可能性が危ぶまれる。

これらの課題に対応し、市が地域資源を活かした独自性あるまちづくりを推進していくために、本計画において次の基本目標を掲げ、「子育て世代の増加」を中心的なコンセプトとして人口減少に歯止めをかけていく。

- ・基本目標 1 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる
- ・基本目標 2 若者に魅力のあるしごとをつくる
- ・基本目標 3 新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 4 時代に合った地域をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.15	1.34	基本目標 1
	子育てアンケート満足度	52.9%	63.0%	
イ	従業者 1 人当たり付加価値額	2.9百万円	3.5百万円	基本目標 2
	創業比率	3.2%	3.5%	
ウ	観光入込客数	5,444千人	6,000千人	基本目標 3
	転入者数 (20～39歳)	471人	700人	
エ	20～39歳で将来にわたり定住意向のある人の割合	41%	60%	基本目標 4
	「住宅土地統計調査」総務	11.8%	10.0%	

	省：住宅総数に対する「空き家のうちその他の住宅」の割合			
--	-----------------------------	--	--	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

南房総市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安心して子どもを産み育てられる環境づくり推進事業

イ 若者に魅力のあるしごとづくり推進事業

ウ 新しい人の流れづくり推進事業

エ 時代に合った地域づくり推進事業

② 事業の内容

ア 安心して子どもを産み育てられる環境づくり推進事業

教育に係る経済的負担や共働き世帯の負担を軽減する「子育てに係る負担の緩和」、産後直後から子育て期に至る切れ目のないケアや相談、地域の支え合いなどの支援体制を構築する「きめ細やかな子育て支援」や南房総市で子育てをすることの魅力を発信する「子育て世代に向けた情報発信」を進めることで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 学校外教育サービス利用助成事業
- ・ 子育て支援センター機能充実事業
- ・ ブログによる子育て情報PR事業 等

イ 若者に魅力のあるしごとづくり推進事業

農商工連携や6次産業化による商品開発や販路開拓の推進、就農希望者の

生産・流通の高度化支援、観光商品の企画販売、受入等のマネジメント機能を持った推進主体の設立、道の駅の機能強化、外国人観光客の受入体制強化、地域資源を活用した観光メニュー開発等を実施する「地域資源の更なる活用及び新産業の創出」、新たに起業・創業や新分野へのチャレンジをする企業・個人に対する支援、企業や個人の能力向上の取組への支援や事業承継の支援をする「起業、創業・第二創業支援」、戦略的な企業誘致を展開するためのアドバイザー誘致、企業、起業家誘致のためのセミナー等イベントの開催やIT人材の育成、多様な人材の就労促進を図る「産業人材の育成、企業・起業家の誘致」を進めることで、若者に魅力のあるしごとづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・農商工等連携推進事業
- ・企業・起業家支援事業
- ・活力あるしごとづくり支援事業 等

ウ 新しい人の流れづくり推進事業

移住・定住相談体制や移住体験の充実、特色ある教育・子育て環境の充実を図る「子育て世代のUIターン推進」、大学等との連携により地域課題に取り組む市民とのマッチングを図る「若い世代のチャレンジの応援」、本市の強みである自然や景観に磨きをかけ、一体的に全国へ魅力発信を実施する「魅力的な景観と戦略的広報による南房総市の知名度アップ」を進めることで、新しい人の流れづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・移住交流推進事業
- ・産学協働地域活力創造事業
- ・戦略的広報事業 等

エ 時代に合った地域づくり推進事業

若者・子育て世代が帰ってきたい、住み続けたいと思える地域にするため、将来の若い世代に負担を残さない「持続可能な行政・社会システムの再構築」、まちの景観の保全や空き家の発生を抑制するとともに活用または解体を促す「市内住宅総数の適正化」を進めることで、時代に合った地域づくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 持続可能な行政・社会システム研究創造事業
- ・ スマート自治体の推進
- ・ 市内住宅適正化事業 等

※ なお、詳細は第2期南房総市総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,000,000 千円（2021年度～2027年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに南房総市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2028年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2028年3月31日まで